



事業計画及び成長可能性に関する説明資料

株式会社JMC

証券コード: 5704

2026年3月

- 1** 会社概要
- 2** 当社の特徴・強み
- 3** 事業環境と今後の成長戦略

- 1** 会社概要
- 2 当社の特徴・強み
- 3 事業環境と今後の成長戦略

会社概要



- [会社名] 株式会社 JMC
- [設立] 1992年12月18日
- [資本金] 817,733千円
- [上場市場] 東京証券取引所グロース (5704)
- [従業員数] 163名 (臨時雇用者含む)
- [代表者] 代表取締役社長兼 CEO 渡邊 大知
- [本社所在地] 神奈川県横浜市港北区新横浜二丁目5番5号

ホームページのご案内



当社ホームページでは決算情報・プレスリリースのほか、各事業の詳しい内容を発信しています。

www.jmc-rp.co.jp

会社概要

経営理念

MADE BY JMC

ビジョン

ものづくりに知性を。

**株式会社JMC**
代表取締役社長兼CEOわたなべ だいち
渡邊 大知

1999年9月に横浜の住宅街にある小さな町工場として、当時珍しかった3Dプリンター装置1台で製造業に参入した当社は2006年に、鑄造事業を営んでいた有限会社エス・ケー・イーと合併し、我々の強みであるデジタル技術に、アナログ技術の代表である鑄造を組み合わせることで、「品質」と「スピード」を兼ねそなえた、次世代の鑄造事業を実現しました。

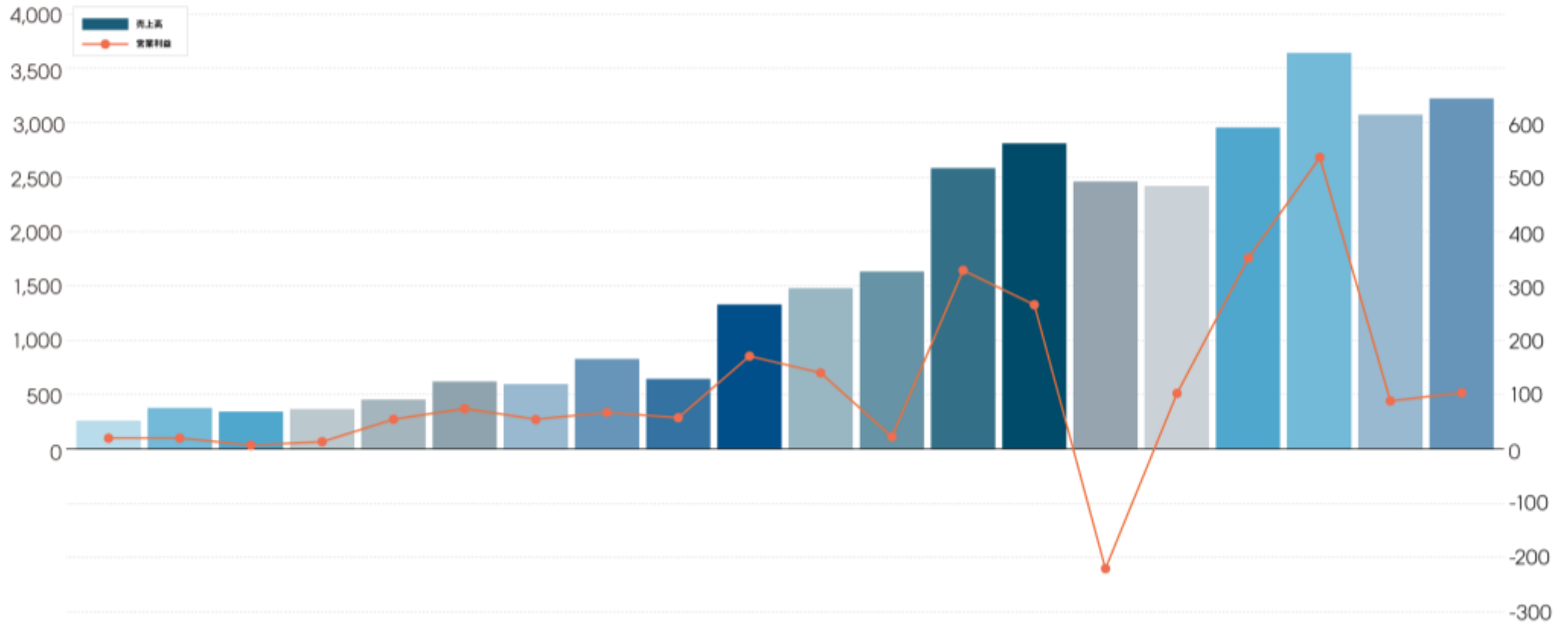
2017年には、鑄造事業の中で行われた産業用CTによる検査工程を切り出し、CT事業としてサービス化し、試作・製造・検査という一貫したバリューチェーンを有する、お客様の課題を解決するパートナー企業として厚い信頼を獲得できるまでに至りました。

2019年、新たな経営理念として「MADE BY JMC」を掲げ、ブランドの一新を行いました。この経営理念には、「JMC」という強固なブランドを日本の製造業の中に確立し、製造業のスタイルを自分たちが変えていくという、強い想いが込められています。

業績推移

売上高 (単位: 百万円)

(単位: 百万円) 営業利益



2006

有限会社エス・ケー・イーと合併
製造事業開始

2008

「コンサートセンター」(製造工場)設立

2014

株式会社「ア」へ商号変更
テクノロジーセンター設立

2015

「HEARTROID」を販売開始
「JISQIO」取得

2016

東京証券取引所マザーズに株式上場

2017

高度管理医療機器等販売業・貸与業の許可取得

2018

「医療機器製造業」取得
「医療機器製造販売業」取得

2019

製造用砂型3Dプリンターを導入

2020

ミーリングセンター設立

2023

「コンサートセンター」第8期棟を建設

事業概要・事業領域

3Dプリンター事業

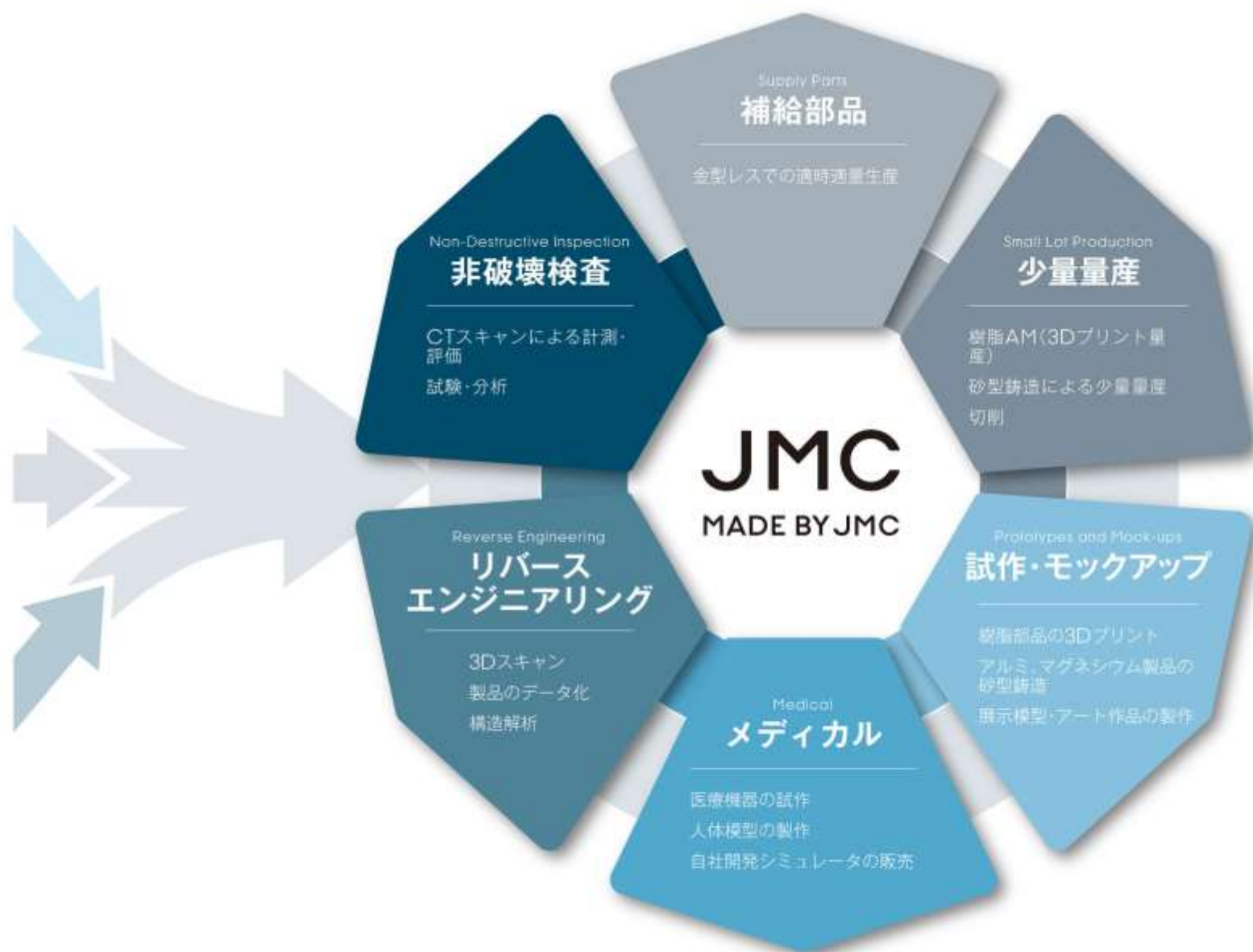
工業部品の試作から販促向けの模型、アート作品など幅広い分野に向けて3Dプリントサービスを提供。業界屈指のノウハウでお客様の課題を解決する。

鑄造事業 (砂型鑄造)

砂型鑄造によってアルミ、マグネシウムの鑄物製造を行う。高い品質と対応力を強みに、自動車・ロボット分野を中心に多くのユーザーから支持を得る。

CT事業

産業向けに特化したCTスキャナによって非破壊検査や、三次元測定サービスを提供。あらゆるニーズに対応可能な設備力・技術力によって業界トップの実績を誇る。



拠点紹介

**コンセプトセンター
伊豆木**

長野県飯田市
 鋳造事業、CT 事業
 3D プリンター事業

生産工場・熱処理

**コンセプトセンター
川路**

長野県飯田市
 鋳造事業

試作工場

ミーリングセンター

静岡県浜松市浜名区
 鋳造事業

機械加工工場

本社

神奈川県横浜市港北区
 3D プリンター事業
 CT 事業

事業紹介



鑄造事業

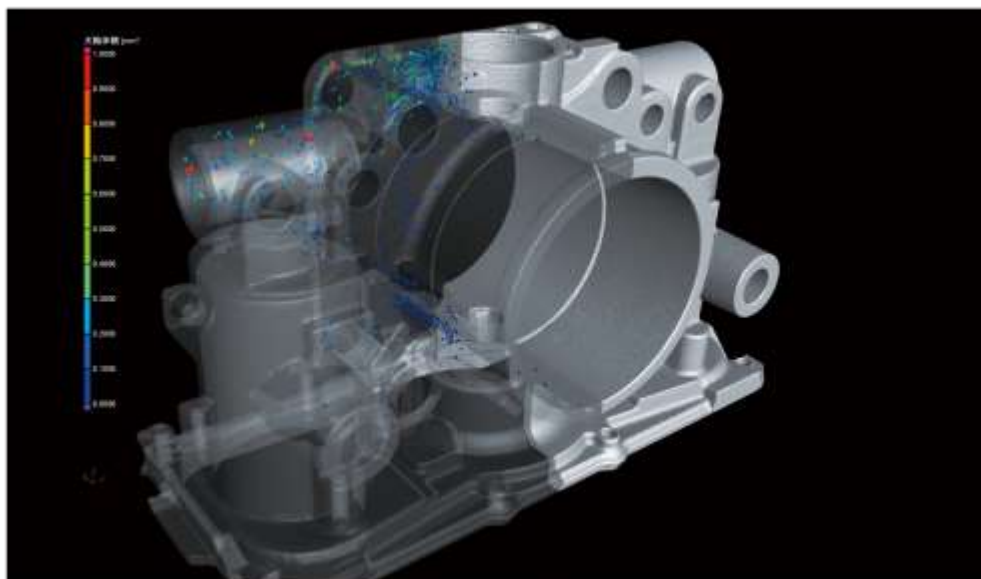
精密砂型鑄造による試作、小ロット量産を行っています。柔軟な材料対応力と、社内一貫生産による短納期対応、産業用CTを始めとする最新機器による高度な品質保証を特徴としています。



3Dプリンター事業

工業部品の試作やモックアップを3Dプリンターで製作するサービスを行っています。豊富なキャパシティで短納期化を実現します。また、2020年7月より3Dプリンターによる樹脂製品の量産サービスを開始しました。

事業紹介



CT 事業

産業用CTスキャナを使用した三次元測定サービスを行っています。産業用CTは他の測定方法に比べ、複雑形状や複合部品のスキャンを得意としており、幅広い分野で活躍しています。

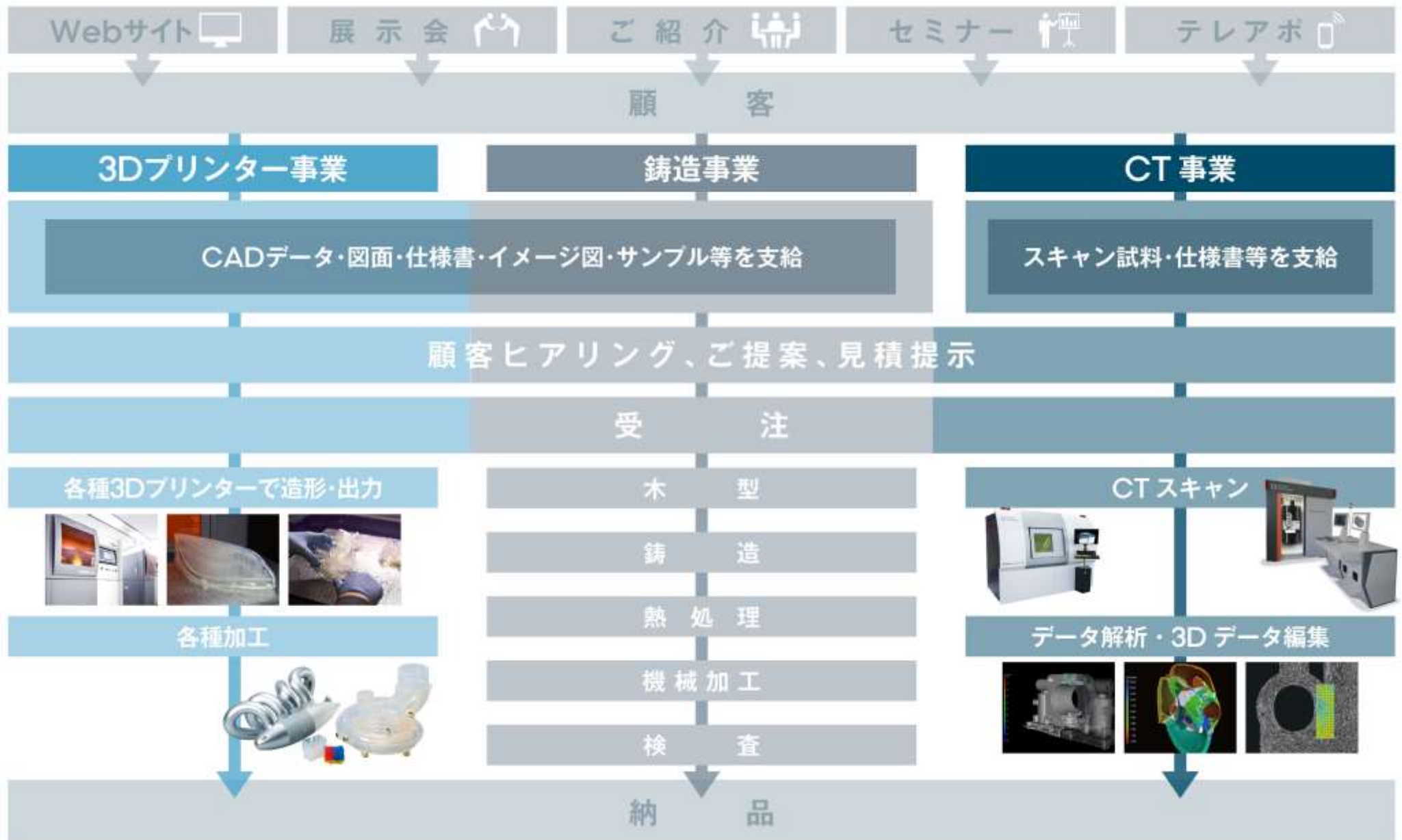


メディカル (HEARTROID)※

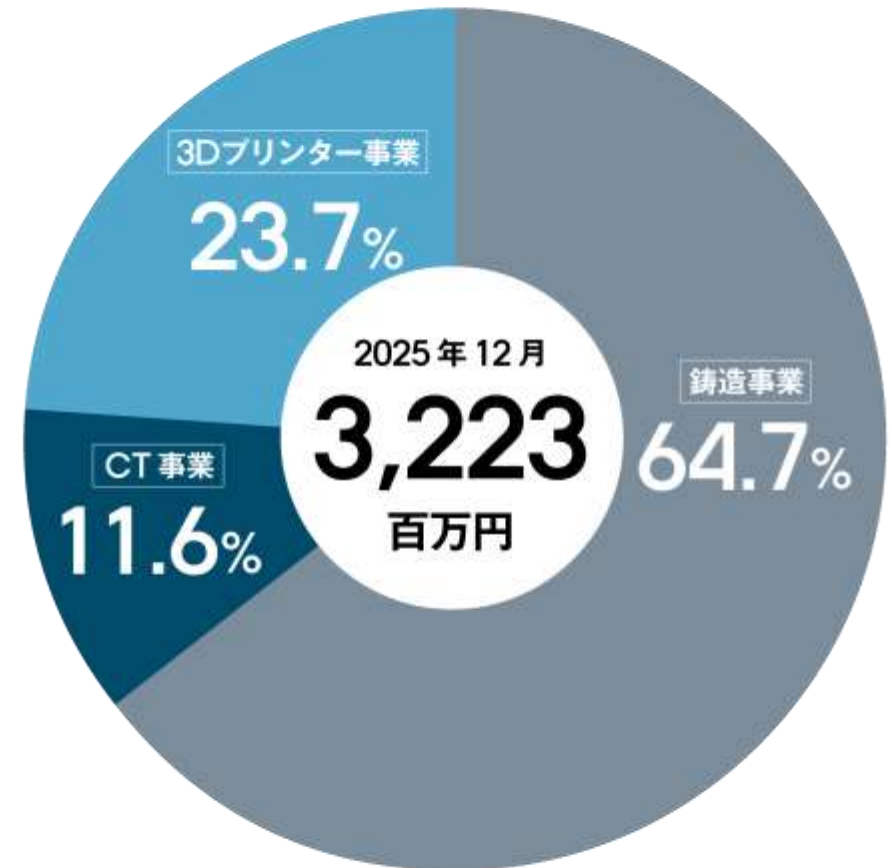
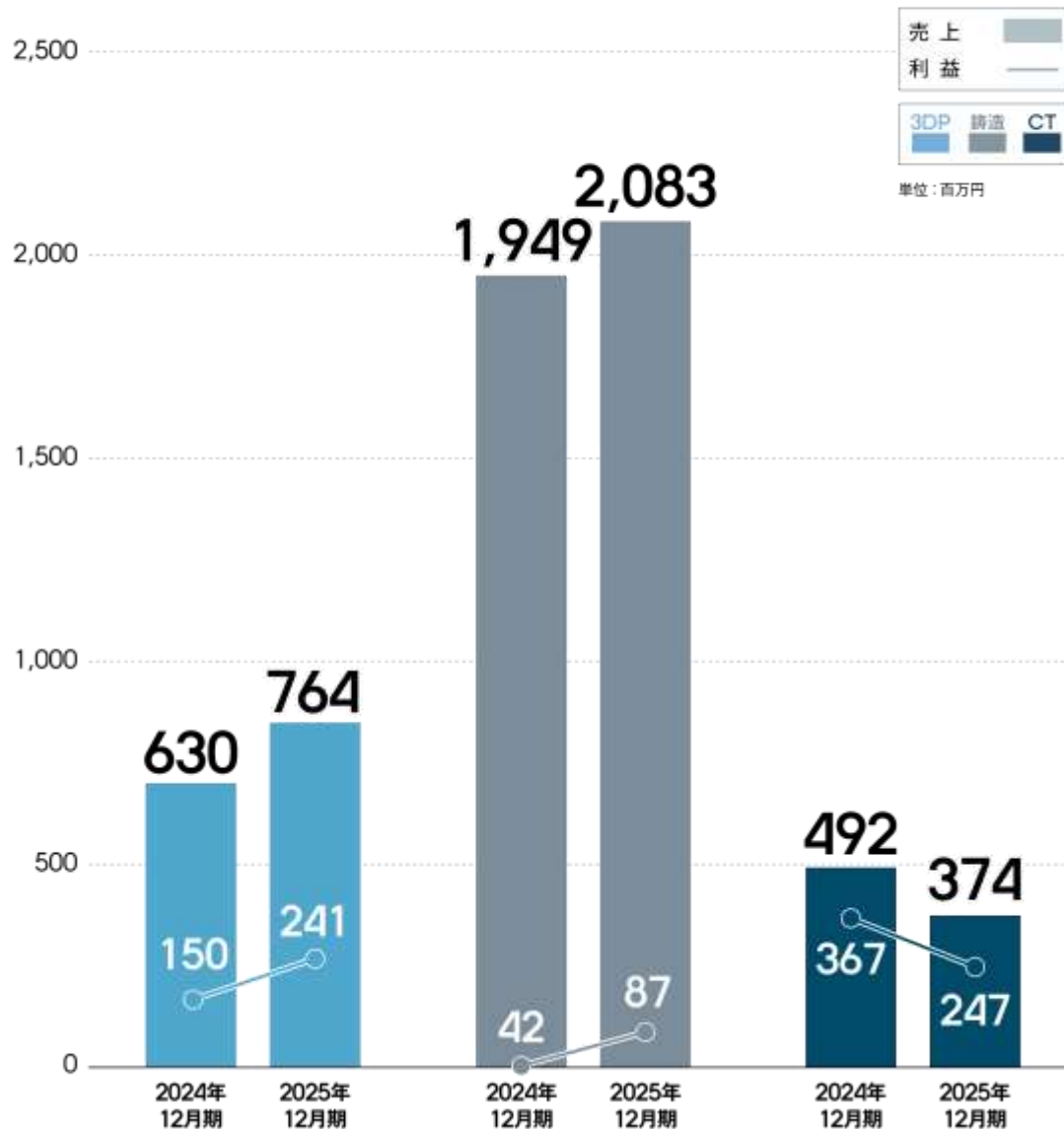
心臓カテーテルシミュレーター「HEARTROID(ハートロイド)」をはじめとして、3Dプリンター技術を活用したオーダーメイドの臓器モデルや医療用シミュレーターを開発・製造し、治療技術の向上に寄与しています。

※3Dプリンター事業の一部

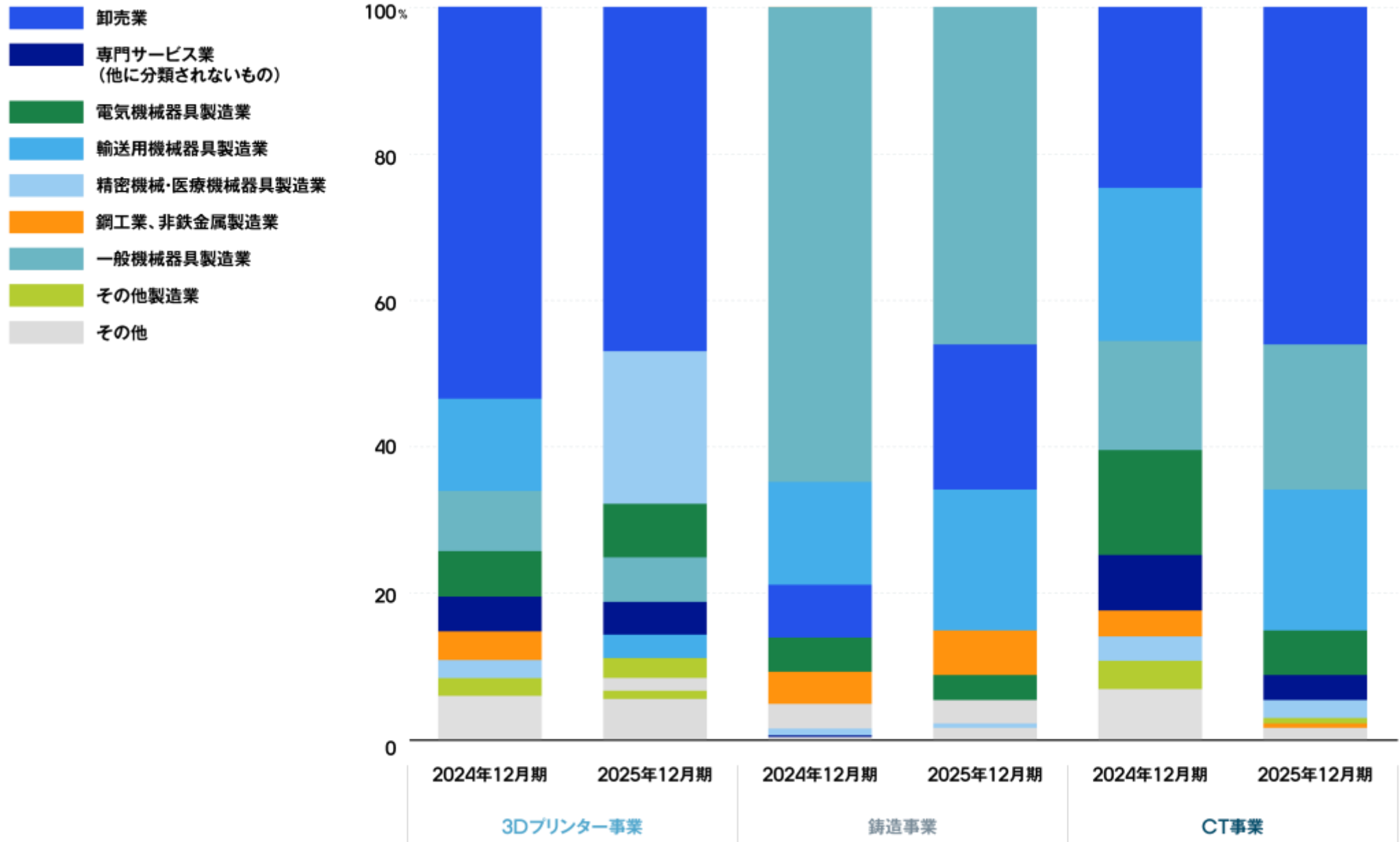
事業フロー



セグメント別売上高



産業別売上高比率



出所) 株式会社帝国データバンク : TDB産業分類表の中分類から当社作成

取引実績 産業分類

3Dプリンター事業

取引業種



鋳造事業

取引業種



CT事業

取引業種



- 1 会社概要
- 2 当社の特徴・強み
- 3 事業環境と今後の成長戦略

3Dプリンター事業の強み

取引実績 産業分類



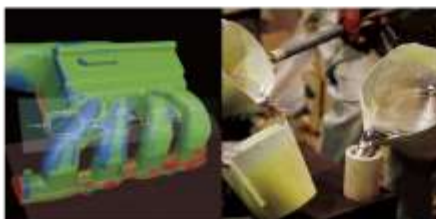
20年以上におよぶ事業継続実績

3Dプリンター黎明期から事業を開始。お客様のご依頼に最適な工法の提案と最短納期実現のために、蓄積されたノウハウを惜しみなく反映



国内有数の生産キャパシティ

工業部品の試作・量産に特化したハイエンド3Dプリンターを中心の設備保有
(光造形機:11台 粉末焼結造形機:1台 その他 FDM造形機 等)



鋳造事業、CT事業の技術活用による対応力

3Dスキャンによるデータ化、試作プロセスに応じて鋳造品の提案などを
“ワンストップサービス”で実現



医療分野への親和性

オーダーメイド医療モデル作製サービスでは、多様な材料への対応により人間の臓器形状を忠実に再現。カテーテルや内視鏡などの手技トレーニングキットの制作も可能



3Dプリンター分野のリーディングカンパニーとして
造形の可能性や新市場の開拓を常に追求

3DiH 3Dプリンティングに携わる3社(当社・八十島プロシード株式会社・原田車両設計株式会社)による協業プロジェクト「3D innovation Hub」を発足

装置販売

受託生産

設計

産業用CTスキャン

3DiH
3D innovation Hub

yasojima

JMC
MADE BY JMC

JMB
HARADA VEHICLE DESIGN

3dih.jp

3Dプリンター事業 ー医療用シミュレーターの開発ー

心臓カテーテル治療トレーニングシステム「HEARTROID」の販売

HEARTROID®

MEDICAL TRAINING SYSTEM

「ハートロイド」は心臓カテーテル治療に携わる医師やデバイスメーカー向けのトレーニング/検証システムです。

拍動ポンプが標準装備されており、X線透視下で造影剤を用いたトレーニングやシミュレーションを行うことが可能です。



www.heartroid.jp/



サービス内容



3Dデータをお持ちでない場合、平面図やイラストからデータ作製させていただくことも可能です。専門のデータチームがお客様のイメージを形にします。また形状編集のみのご相談も承りますので、お気軽にご相談ください。

もともになる実物をお持ちの場合、3Dスキャンによるデータ化が有効です。3Dスキャンによって得られた形状を、そのまま3Dプリントしたり、CAD面化して編集するなど、幅広いサービスを社内一環で提供しています。

日本未来技研、JMC、そしてUnionTechは、互いの強みを結集した協力体制を構築しました。装置供給から受託サービス、そして運用支援までがシームレスにつながり、安心して光造形技術を活用できる環境を提供します。



・ 鑄造事業の強み

鑄造事業における当社の優位性



素材から加工まで一貫した製造工程
による短納期の実現



機械加工専門工場による
加工キャパシティの充実



職人技のデジタル化による人材育成
ノウハウ



最新鋭の検査設備による高度な
品質保証体制

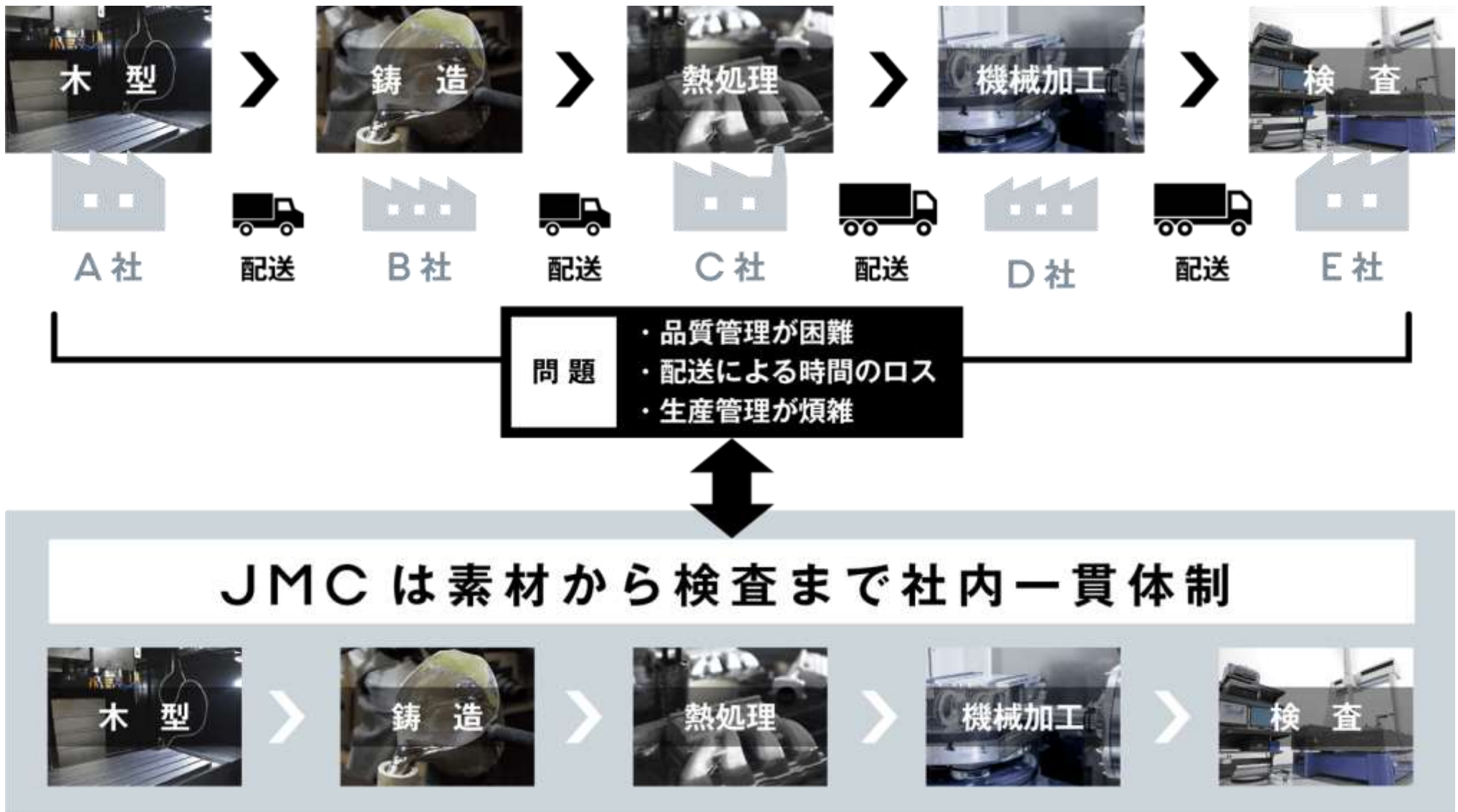


砂型3Dプリンターなどの新技術を
導入



鑄造業界の慣例である
重量に応じた価格
ではなく、
製品毎の技術難易度に
応じたプライシング
を実現

鑄造事業における当社の優位性(短納期を実現する製造工程)



砂型鑄造による試作・量産

用途

アルミ・マグネシウム
部品の試作・量産

顧客

自動車・産業機器
船舶・航空機

自動車に使用されるアルミ鑄物の
多くを生産

シリンダーヘッド
シリンダーブロック
オイルパン
ヘッドカバー
クランクケース
タービンハウジング

イミングチェーンカバー
オルタネーター
インテークマニホールド
フューエルデリバリーパイプ
オイルポンプ



砂型3Dプリンター



ExOne社の砂型3Dプリンターを 2019年6月に導入

3Dデータから直接砂型を造形することで、木型を必要とせず大幅な納期短縮に繋がります。



例：4気筒シリンダーヘッド



S-Print 装置概要

名称	S-Print (ExOne社製)
造形BOXサイズ	L800 × W500 × H400 mm
結合剤タイプ	フェノール
積層ピッチ	0.24 mm
造形解像度	X0.1 mm / Y0.1 mm

5週間 ▶ 最短 10~14日間

充実した生産設備



加工エリア



CRYSTA-plus M776



CRYSTA-apex S 121210



NMV5000 DCG



DMC 80 U duoBLOCK

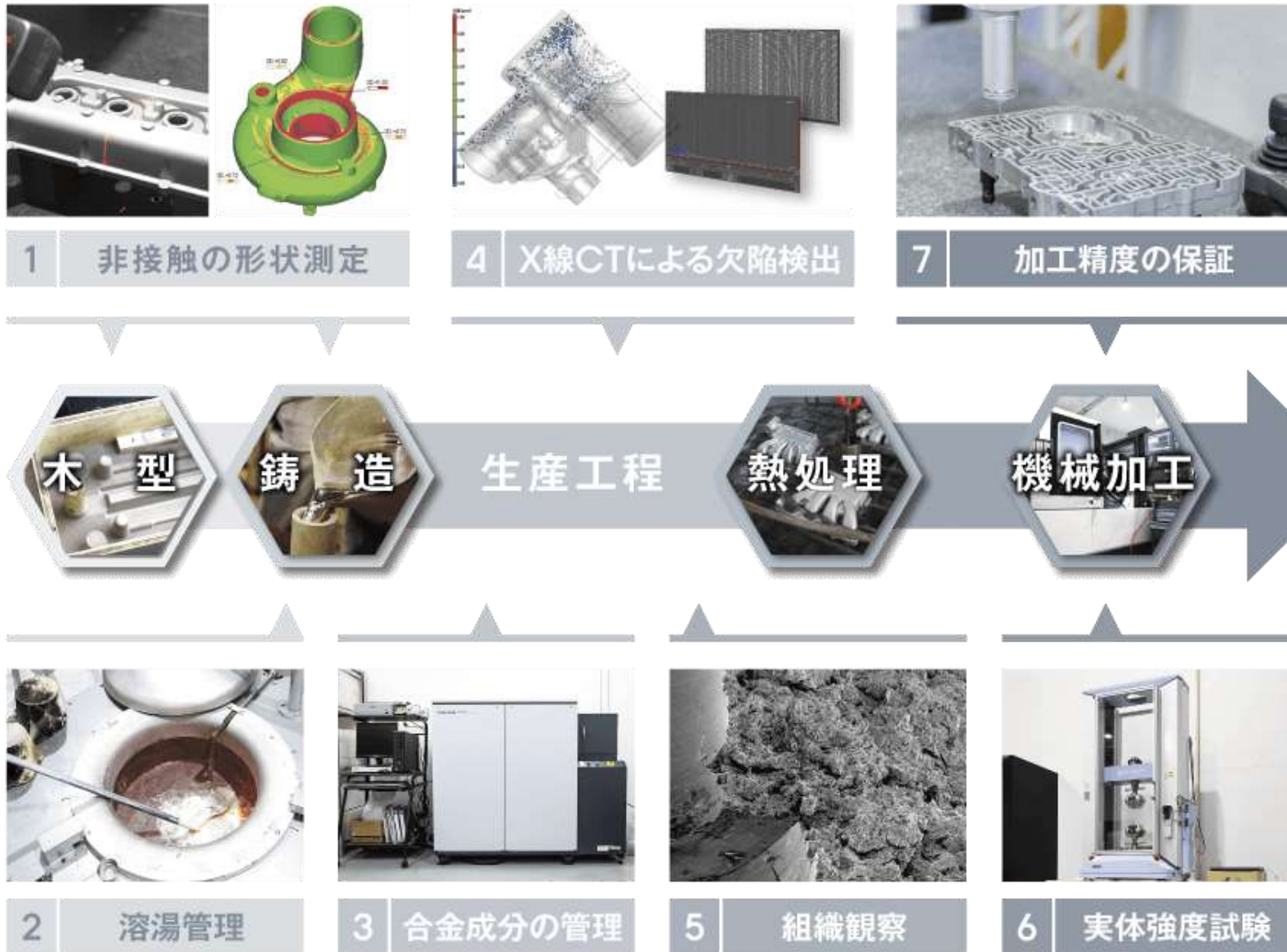


NH6300 DCG II



測定エリア

品質保証



品質保証 ー各種検査ー

PT検査

赤色浸透液(もしくは蛍光浸透液)を用いて製品表面に開口するクラックやピンホールを検出する非破壊検査方法です。



アルミ焼割れ

強度試験

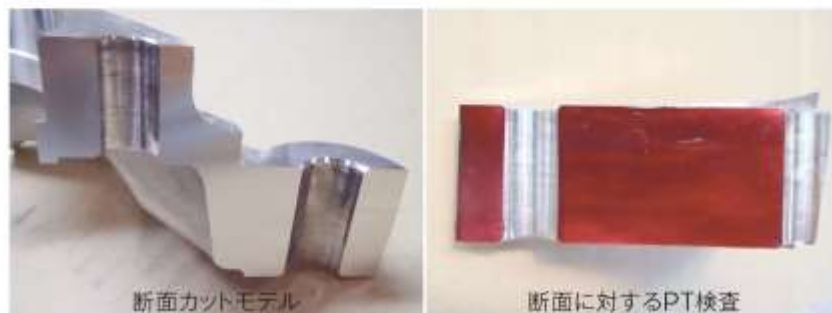
引張試験を始めとした要求に応じた強度試験が可能です。規格に応じた試験片の製作や、実製品からの切り出しでの製作など幅広い実績があります。



引張試験片

断面カット

非接触では測定不能な箇所の肉厚や、中子ズレなどをチェック。また断面に対してPT検査を行い、鑄巣などの重大な内部欠陥を早期発見し対策をすることで、良質な製品を出荷します。

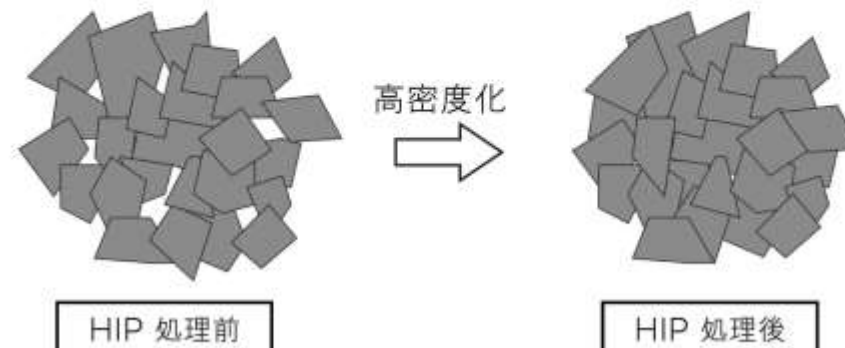


断面カットモデル

断面に対するPT検査

HIP処理

液状の圧力媒体により、製品に対して高温と等方圧をかけて鑄巣を低減する手法です。



HIP 処理前

HIP 処理後

ギガキャスト(大型試作)に対する設備投資



型締力3,000~6,000tクラスの ダイカストを想定した試作

定盤サイズ2,000×2,000mmの大型低圧鑄造炉によるギガキャスト・メガキャストの砂型鑄造試作を提供しています。また、形づくりだけではなく、引張り強度や耐力、伸び等の機械特性も考慮した試作を提供いたします。



熱処理炉ワークサイズ

熱処理炉(バッチ式炉)

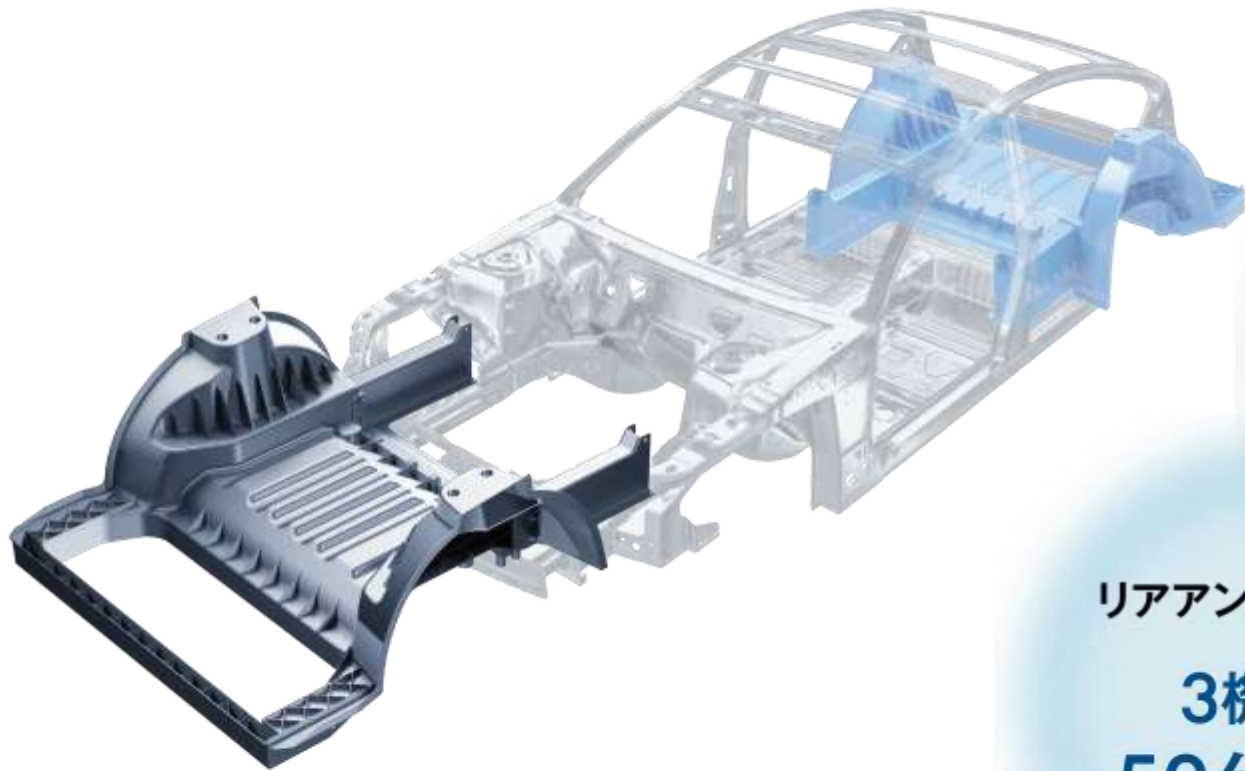
W 1,000 × D 1,000 × H 1,000

熱処理炉(連続炉)

W 1,500 × D 1,000 × H 1,200

ギガキャスト(大型試作)に対する設備投資

ギガキャストの対象となるパーツ



フロント・リア サスペンションメンバー

フロント・リア アンダーボディ

年間生産キャパシティ

フロントアンダーボディ

4機種

100台前後

リアアンダーボディ

3機種

50台前後

サスペンションメンバー

30機種

300台前後

鑄造事業における当社の優位性(人員構成)

従業員の年齢構成

職人技術を汎用化（デジタル化）することで人材の有効活用を実現

鑄造事業従事者の
平均年齢

42.9歳

出所)厚生労働省:賃金構造基本統計調査

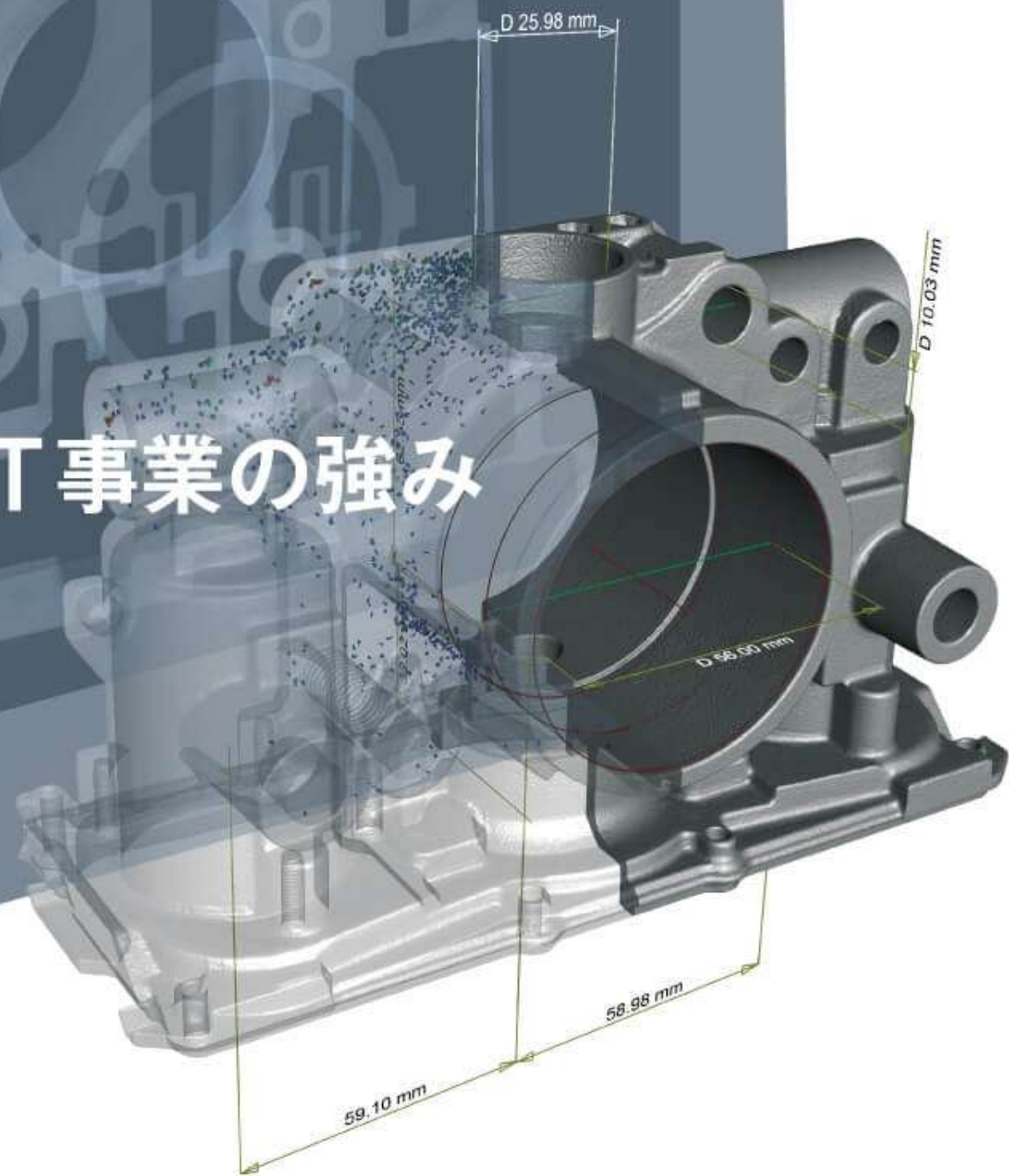
JMCの鑄造事業
一貫したデジタル技術の導入に
よって業界では異例の平均年齢

35.5歳

*2025年12月末時点
鑄造事業の製造従事者(管理職含む)の平均年齢



CT事業の強み



産業用CTスキャンサービス

JMCは産業用に特化したCTスキャナを使用した検査・測定サービスを行っています。高精度、高出力のハイエンド産業用CTを6台体制で、製品内部の品質検査や複雑形状の3Dデータ化に圧倒的な短納期で対応します。



産業用CTは非破壊検査だけではなく、実物の3Dデータ化や構造解析など、様々な用途に利用されます。

JMCはあらゆる業界向けにサービス提供を行っており、豊富な撮影実績で高品質なスキャンデータを提供します。

納品形式	ボリュームデータ	VGL、DICOM その他生データ 等
	断層画像	JPEG、PNG、TIFF、動画 等
	3D データ	STL、OBJ、IGES、STEP、Parasolid 等

全ての領域をカバーするサービス体制

産業用CTには撮影対象の大きさや材質ごとに最適化された4つのクラスが存在します。

JMCではそれら全ての領域に対応可能となっており、産業用CTでできることを網羅したサービス体制を敷いています。

産業用CTの分類



JMCは全ての領域をカバーすることで
出力と精度を両立しています



phoenix v | tome | x c 450



phoenix v | tome | x m300

装置・ソフトウェア販売と受託サービスの相乗効果

受託サービス

年間13,000スキャン以上を実施し、スキャン技術のノウハウを蓄積



装置・ソフトウェア販売

ベーカーヒューズ・エナジージャパン社および
Hexagon Manufacturing Intelligence社と
販売代理店契約を締結

ハードとソフトの両方を販売



受託サービスにより顧客の需要動向を敏感に察知することで、装置・ソフトウェアの効果的な販促活動を実施。また販売によって得たノウハウを受託サービスにも還元することで相乗効果を生むことができます。

非破壊検査・選別サービス

不具合が懸念される製品群に対して、X線透過像(レントゲン画像)やX線CTデータを利用した選別サービスを提供しています。緊急性の高いご相談にも短納期で対応が可能です。少量の検査はもちろん、全数検査の実績も有しています。

検査・選別対象に応じた2つの手法

X線透過像を用いた選別

短時間で大量の検査が可能

1 撮影

設置から画像取得までスピーディーに数多くの選別を行えます。製品に応じて一度の撮影で複数個を同時に確認できます。



2 記録

不具合品を発見した際、対象の検査画像を保存することが可能です。



X線CTデータの特徴

詳細かつ三次元で検査が可能

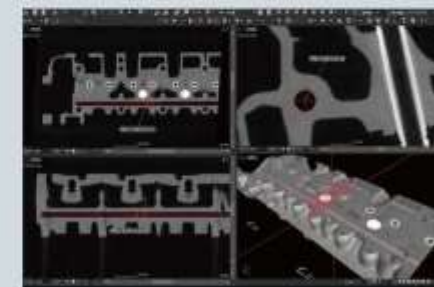
1 撮影

三次元化されたCTスキャンデータを取得します。X線透過像と比較してスキャンに時間を要する反面、透過像では判断できなかった形状を選別することが可能になります。



2 記録

CTデータおよび連続した断層画像もご提供可能です。そのため、データの納品後にお客様自身で最終判断いただくこともできます。



共催セミナー

社外関係者と共同で、セミナーを通じた周知啓蒙活動を推進



Waygate Technologies
JMC

高解像度産業用X線CT&電子顕微鏡セミナー

共催：ウェイゲートテクノロジーズ
：サーモフィッシャーサイエンティフィック

場所：AP秋葉原



JMC × 日本ベーカーヒューズ × コベルコ科研 共催

LiB Webinar

リチウムイオン電池の X線CTと評価解析技術セミナー

(アーカイブ配信)

CTスキャン事例

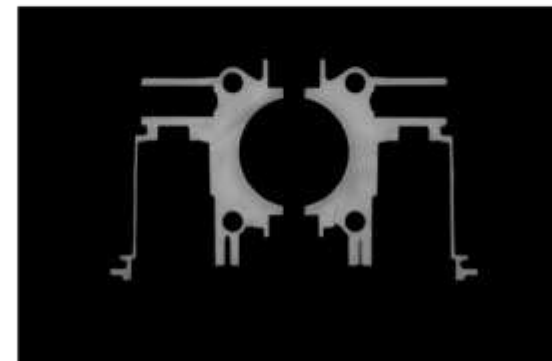
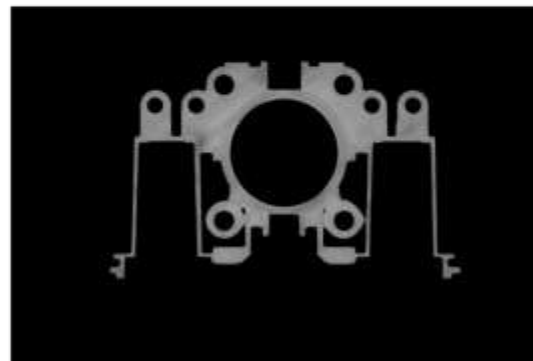
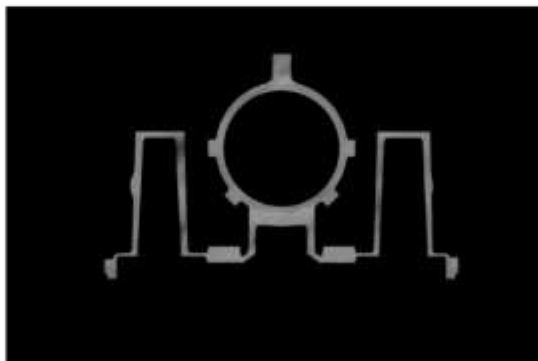
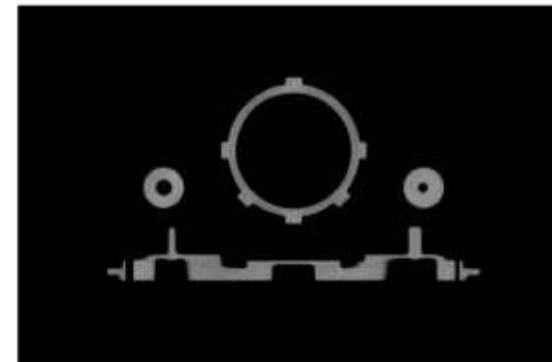
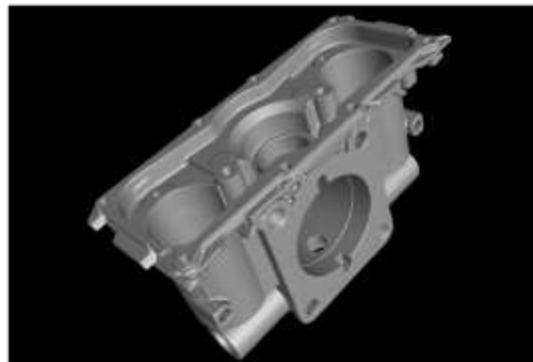
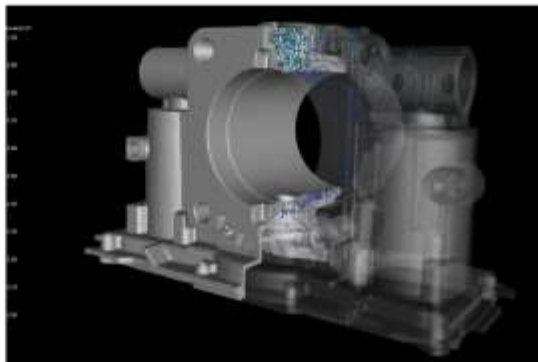
鋳造品の非破壊検査 鋳巣を可視化する

撮影装置：phoenix v|tome|x c450

試料寸法：180 × 69 × 109 mm

試料材質：アルミニウム合金

スキャン時間：60 分以内 ポクセルサイズ：133 μ m



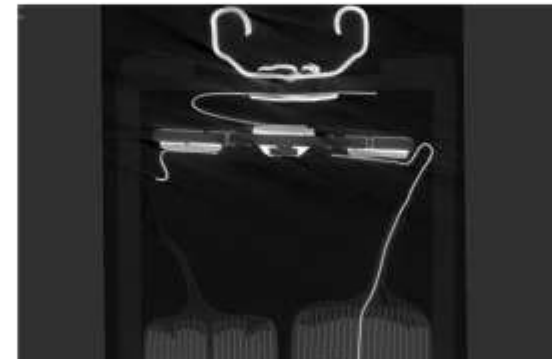
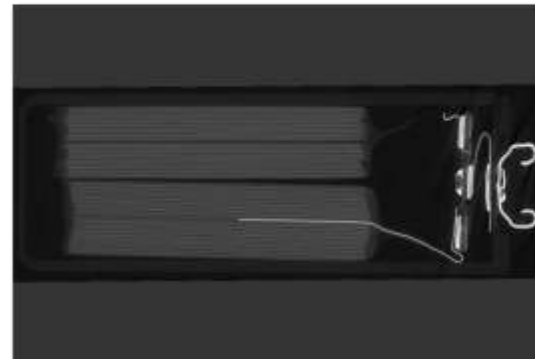
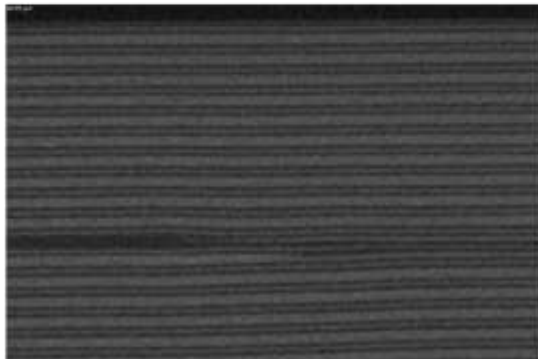
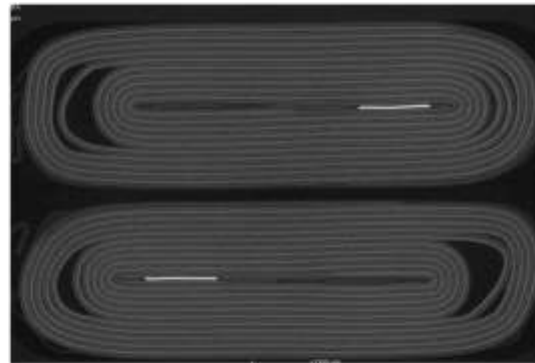
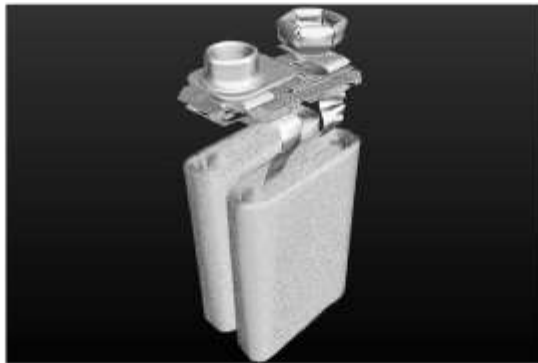
CTスキャン事例

リチウムイオン電池の
非破壊検査

撮影装置：phoenix v|tome|x m300

試料寸法：25 × 16 × 47 mm

スキャン時間：20 分

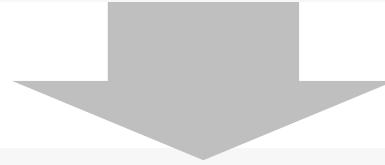
ボクセルサイズ：17.0 μ m

- 1 会社概要
- 2 当社の特徴・強み
- 3 事業環境と今後の成長戦略**

事業環境

市場の状況

大量生産・大量消費ニーズの終焉



多品種小ロット（高付加価値）案件の増加で受注機会の増加が見込まれる

航空宇宙



少量しか作らない

自動車・バイク・産業機器・家電など



量産からパターンオーダー

医療

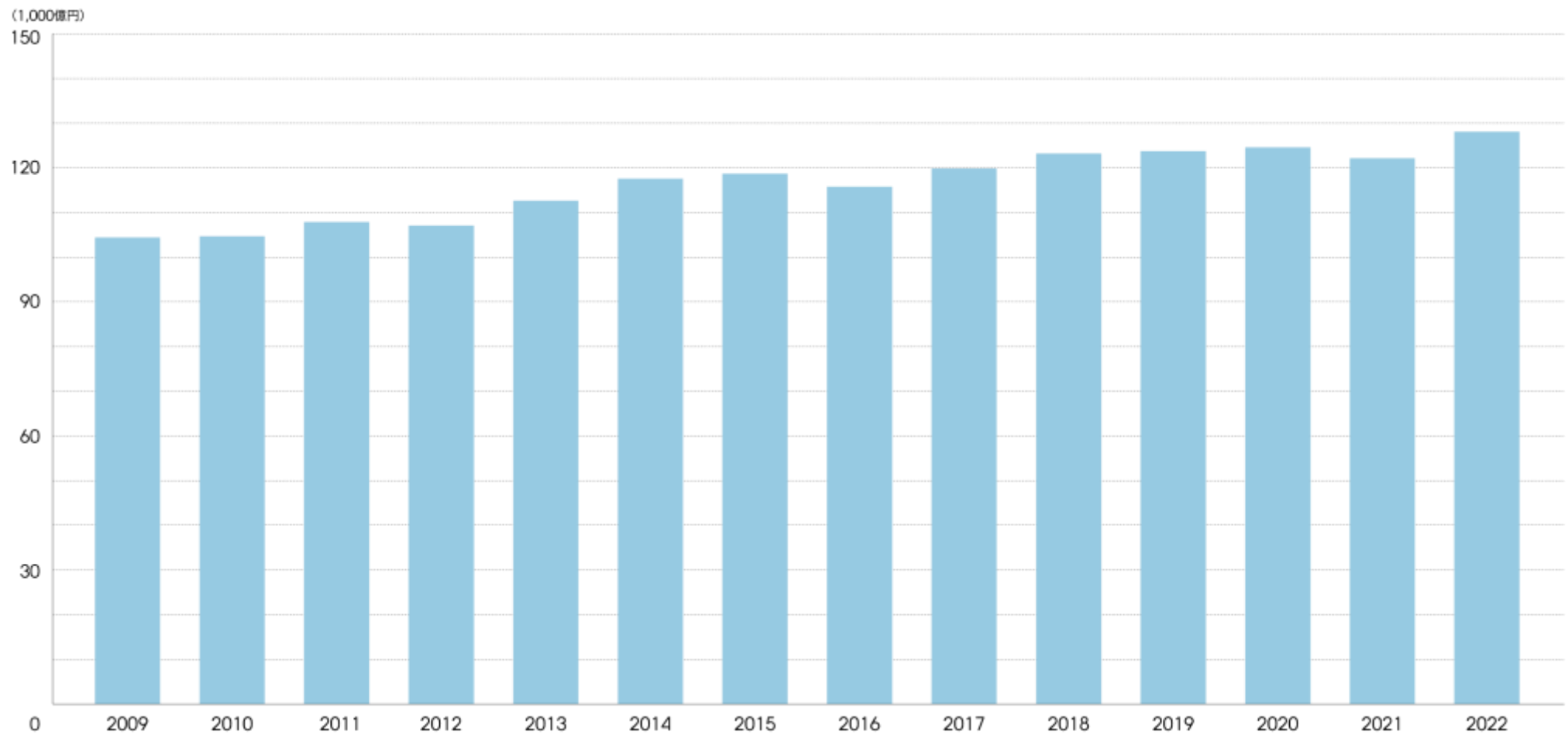


オーダーメイド

国内製造業の研究開発費について

研究開発費は高水準を維持

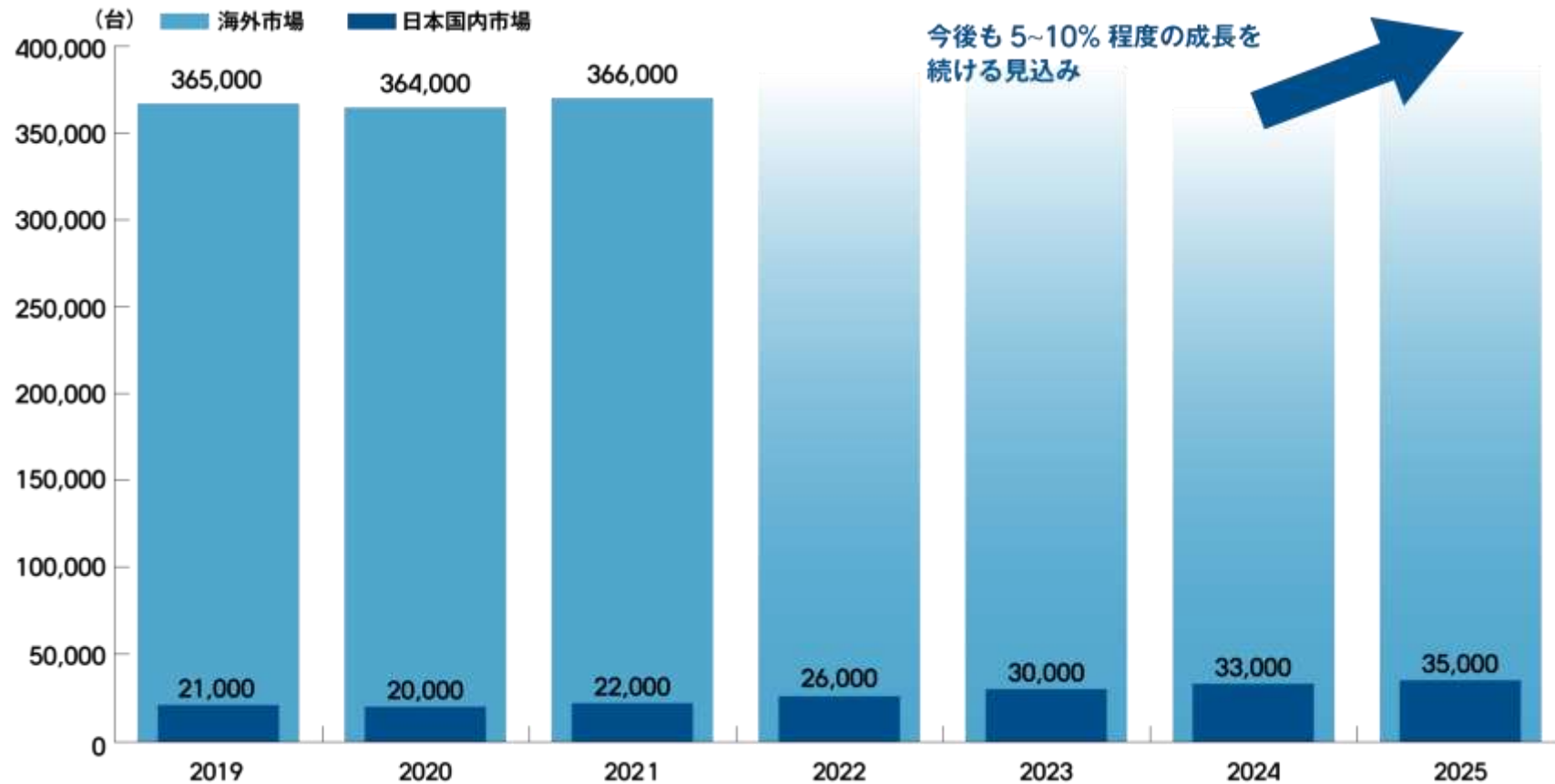
国内製造業の研究開発費の推移



出所) 文部科学省 : 科学技術・学術政策研究所「科学技術指標2024」を基に、当社が加工・作成

3Dプリンティング市場

日本国内ではものづくり現場への導入が進んでいないため、需要喚起が最優先課題



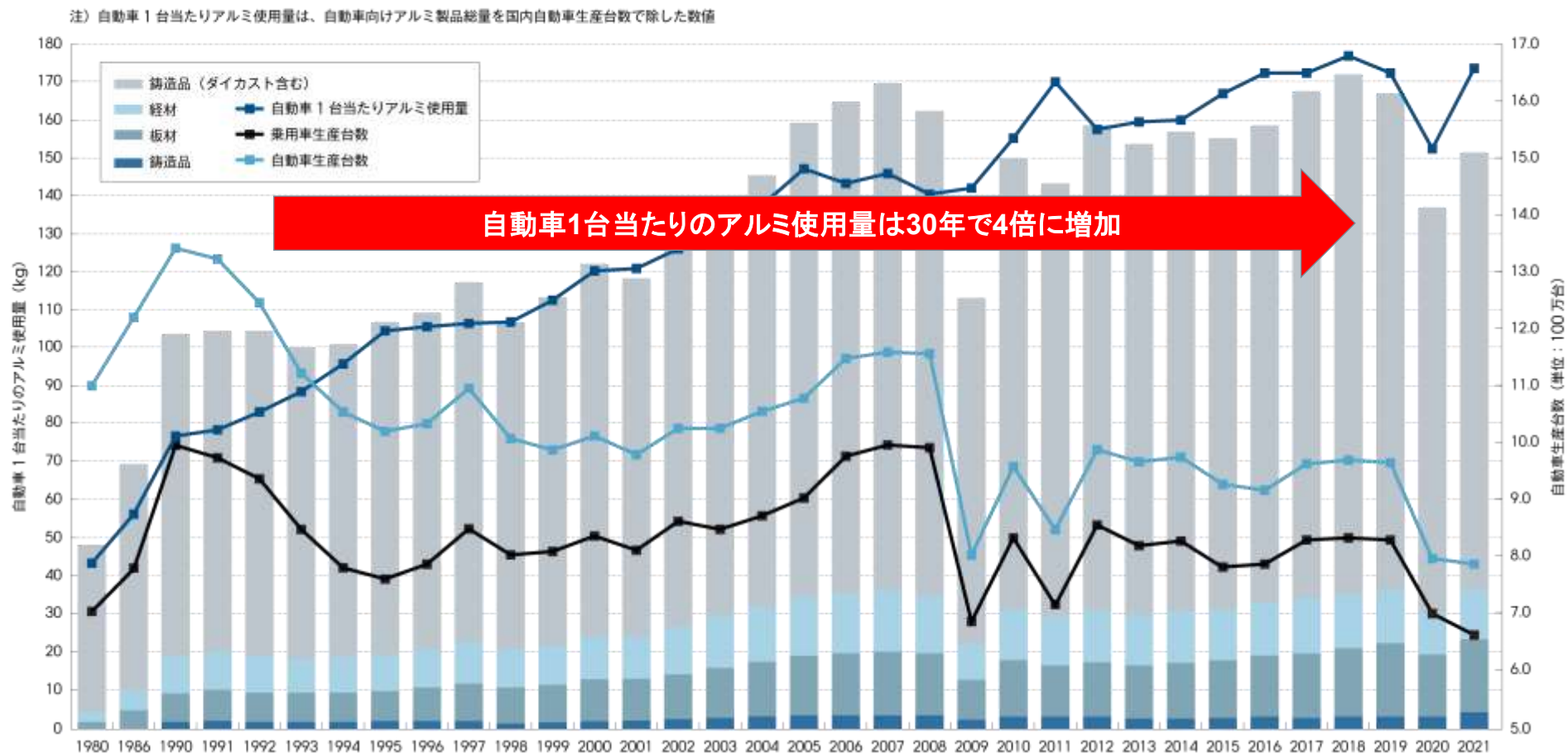
出所) 矢野経済研究所: 3Dプリンター世界市場(出荷台数)を基に当社が加工・作成

当社事業領域(Additive Manufacturing、樹脂試作)のバリエーション拡張と生産キャパシティ強化で、ものづくり現場への造形品導入を働きかける

アルミニウム鑄造市場

生産台数が減少する一方、アルミニウム鑄造部品は増加

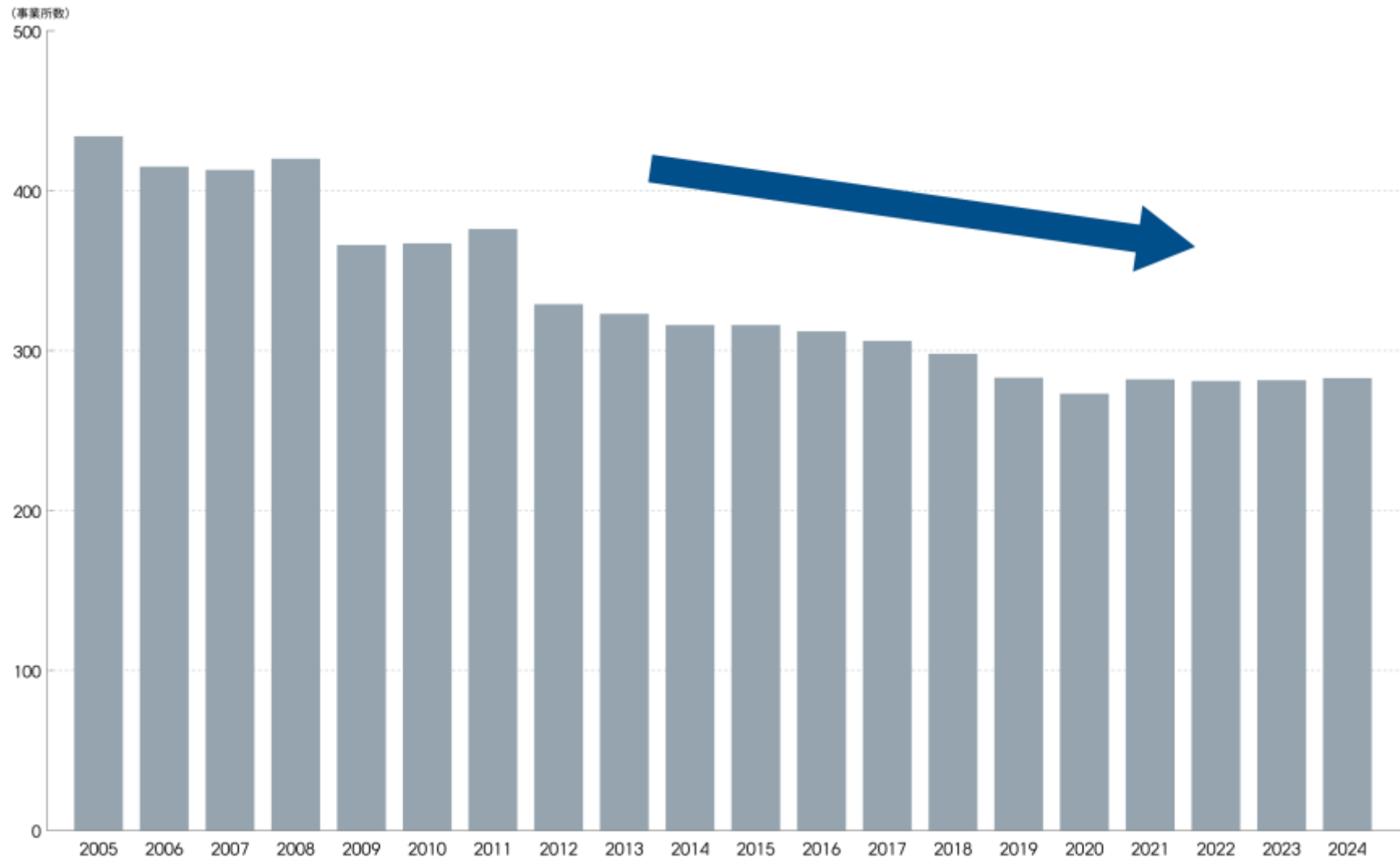
自動車産業は環境問題、安全問題への対応から、車体の軽量化が進展。
自動車部品については、①材料の高強度化、②鑄造技術改善による薄肉化、③鑄鉄からアルミニウム、④構造の見直しによる部品一体化（複雑一体部品の鑄造技術）等の変化が進んでいる。



自動車工業会統計データ、日本アルミニウム協会統計データより当社が加工・作成

非鉄鑄造市場

非鉄金属鑄物の供給者の減少により、当社の需要獲得機会は増加

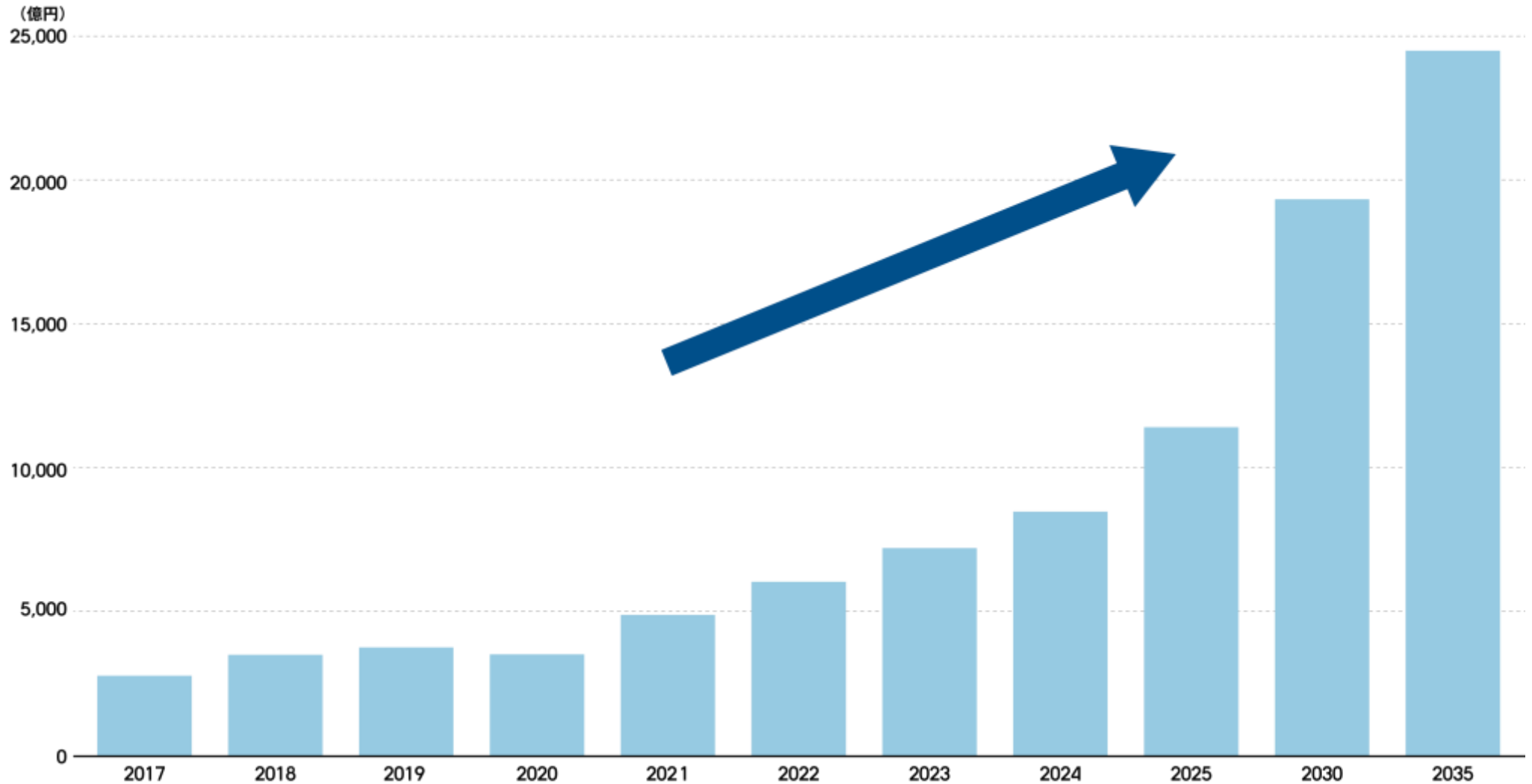


※海外と競合するのは主に大量生産品であるため、当社の競合としては国内業者を想定

出所)経済産業省:工業統計調査
経済構造実態調査を基に当社が加工・作成

電動車駆動用モータの市場規模予測

EV・PHEV用モータを中心に急激な市場拡大見込み。
省エネ、高効率のため軽量な非鉄鑄造品需要が高まる。



出所) 経済産業省:「次世代蓄電池・次世代モータの開発」プロジェクトに関する研究開発・社会実装の方向性 を基に当社が加工・作成

今後の成長戦略

2026年12月期からの取り組み ー 成長戦略



2026年12月期からの取り組み — 成長戦略

**積極的な買収提案の
実施**

全事業におけるシナジー創出

**自社製品の開発・
販売の強化**

**「HEARTROID」
「アルケリス株式会社」との協業**

2026年12月期からの取り組み — 成長戦略

3Dプリンター事業

工業部品の試作から販促向けの模型、アート作品など幅広い分野に向けて3Dプリントサービスを提供。業界屈指のノウハウでお客様の課題を解決する。

鋳造事業 (砂型鋳造)

砂型鋳造によってアルミ、マグネシウムの鋳物製造を行う。高い品質と対応力を強みに、自動車・ロボット分野を中心に多くのユーザーから支持を得る。

CT事業

産業向けに特化したCTスキャナによって非破壊検査や、三次元測定サービスを提供。あらゆるニーズに対応可能な設備力・技術力によって業界トップの実績を誇る。



装置販売・代理店、自社製品群の強化により、付加価値が高く提案型の営業機会を増加させ、受託事業中心のポートフォリオからの分散を進める

2026年12月期からの取り組み — アルケリス株式会社との業務提携

親和性の高い分野への
進出検討

- ✓ シナジー効果が期待できる企業との積極的な協業
- ✓ 資本提携も視野に入れたビジネスモデルの拡張
- ✓ 当社取引先顧客への提案
- ✓ 「HEARTROID」で構築した海外販路の活用



アルケリス株式会社は、立ち仕事による作業負荷の軽減を目的とした補助装置を開発・販売する会社です。

会社名 アルケリス株式会社

役員 代表取締役 CEO 佐保 勝彦

代表取締役 CTO 藤澤 秀行

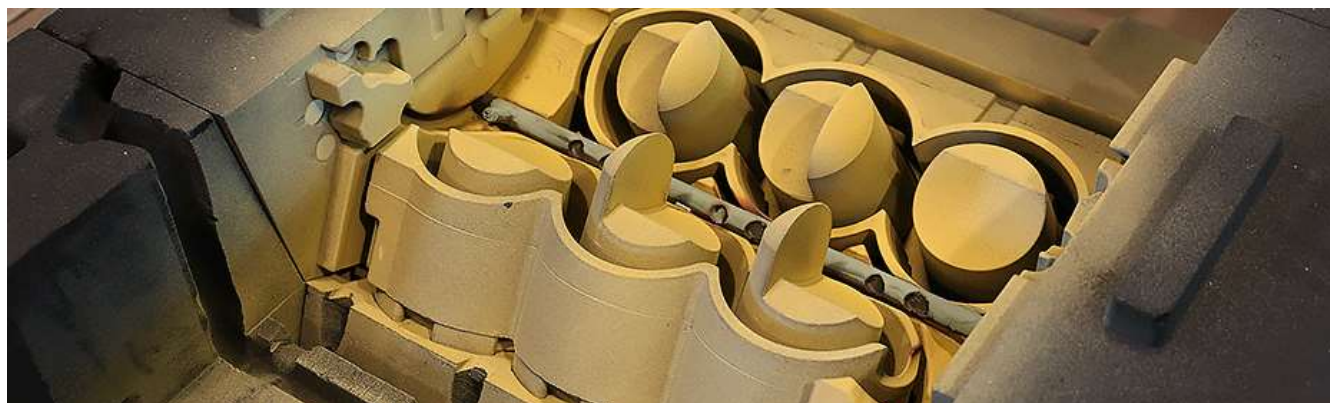
設立 2020年2月10日

資本金 15,000,000円

所在地 [本社] 〒236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町14-16

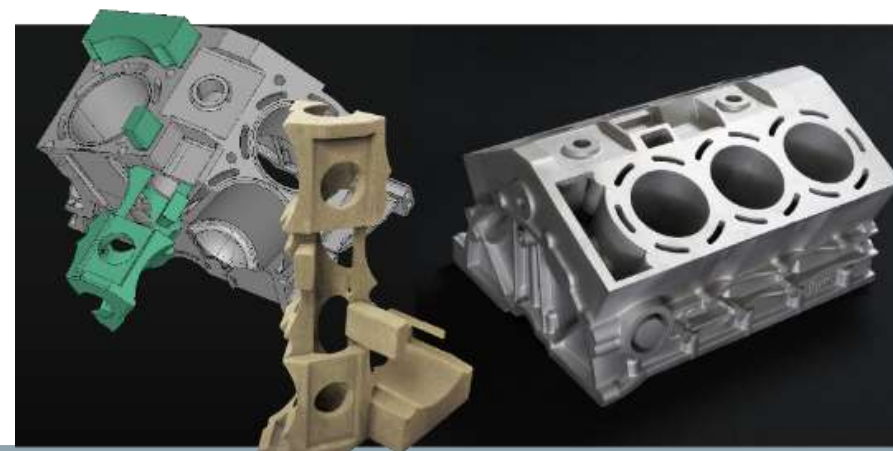
[Bay Side Lab] 〒236-0002 神奈川県横浜市金沢区鳥浜町12-4

3Dプリンター技術と鑄造技術の融合の推進



砂型鑄造で使われる木型を介さず、3Dプリンターでの鑄型を作成する砂型鑄造法の推進

短納期化とコストダウンを追求



自社保有の産業用CTスキャナ活用提案の推進

スキャンした物体の形状から3次元CADデータを得ることで、設計過程を効率化

2025年12月期 業績ハイライト 前年比

単位：百万円	2024年12月期	2025年12月期	増減額	増減率
売上高	3,072	3,223	150	4.9%
売上総利益	1,024	1,036	12	1.2%
売上総利益率	33.3%	32.2%	—	△ 1.1P
販売費及び一般管理費	936	933	△ 3	△ 0.4%
営業利益	88	103	15	17.6%
営業利益率	2.9%	3.2%	—	0.3P
経常利益	122	101	△ 21	△ 17.7%
経常利益率	4.0%	3.1%	—	△ 0.9P
当期純利益	50	△1,263	△ 1,314	—

3Dプリンター(ハートロイド)事業の売上増加で昨年比微増
減損損失の計上により当期純損失

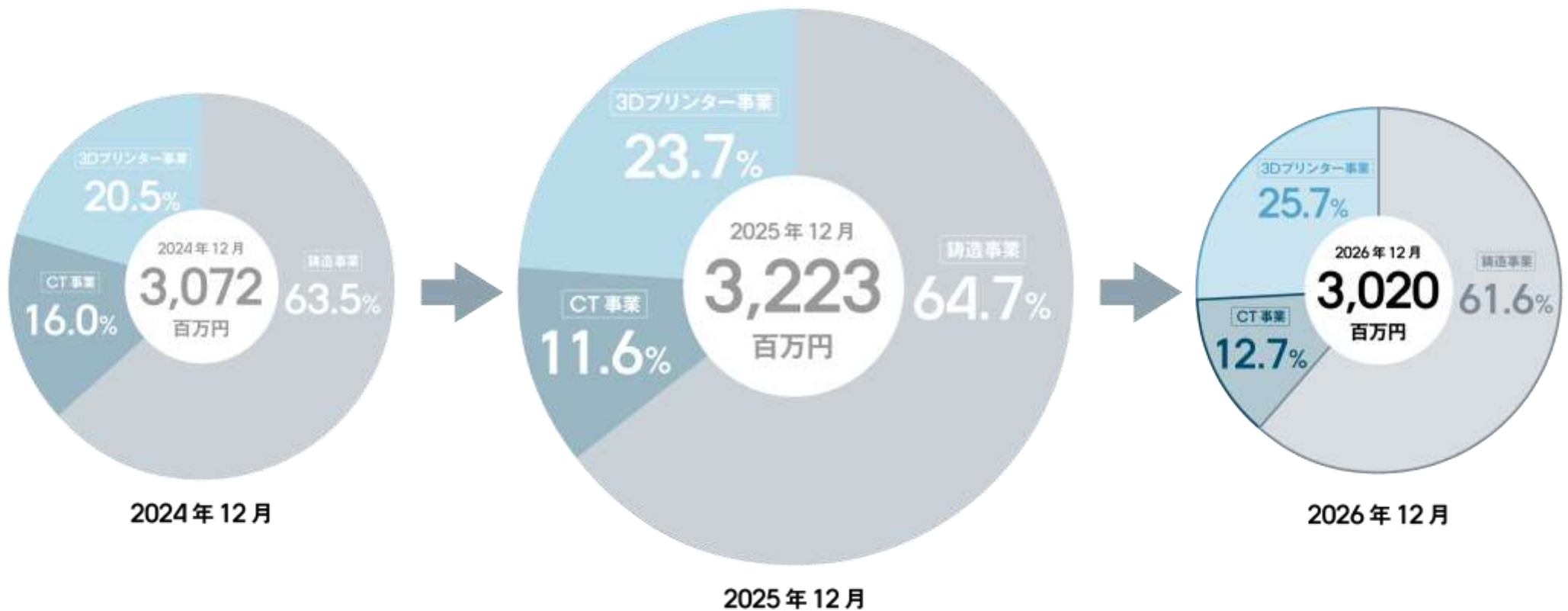
2026年12月期 見通し(2024年度からの推移)

単位：百万円	2024年12月期（実績）	2025年12月期（実績）	2026年12月期
売上高	3,072	3,223	3,020
営業利益	88	103	205
営業利益率	2.9%	3.2%	6.8%
経常利益	122	101	199
経常利益率	4.0%	3.1%	6.6%
当期純利益	50	△1,263	132

※実際の業績等は、さまざまな要因の変化等によりこれらの見通しと異なる場合があります。

まずは利益の復旧を最優先に、
 鑄造事業セグメント以外では事業規模拡大に備える

2026年12月期 セグメント別売上高比率 見通し



2026年12月期からの取り組み — 鑄造事業

振り返り

- ✓ **第8期棟：大型化・量産化工場へ**
幅広い受注サイズ、ボリュームに対応
- ✓ **大型の量産部品に挑戦**
大型品の品質安定化と継続性が難航
- ✓ **新素材を用いた鑄造技術の確立**
「新素材×工法」の最適解導き出しに
手間取り
- ✓ **獲得したノウハウを製品に転化**
レストア分野は撤退を決定

減損損失の計上

鑄造事業：今後の取り組み

1 止血

- ✓ **採算性の確保**
新規性の高い案件への挑戦は
継続

2 縮小

- ✓ **体制の再構築**
適正サイズの組織に再編




3 発展

- ✓ **強い組織で受注活動強化**
採算性確保の目途をつけ、
営業活動を拡張




2026年12月期からの取り組み — 3Dプリンター事業・CT事業

振り返り

 周知・啓蒙活動強化







-  自社開発装置で造形サービス展開
-  共催・カスタマイズセミナー開催
-  装置販売体制の整備

 装置増備への取り組み

-  微細積層造形の提案開始
-  小型汎用装置の導入
-  新たなCT装置検討

新たな成長ステージに向けた取り組み

業界の絶対的リーダーとして牽引する

-  「マルチ3Dプリンターファクトリー」具体化
-  装置開発、海外樹脂材料活用で競争力強化
-  装置販売代理店活動を本格化
-  自社発信のプロダクト開発
-  装置メンテナンスサービスの自社提供
-  装置保守部品の在庫対応

2026年12月期からの取り組み — 3Dプリンター事業(HEARTROID分野)

振り返り

☑ 拡販に向けた調査、人材採用

- ① HR グローバルマーケット調査
- ② HR 北米のポテンシャルを再確認
- ③ HR 海外営業担当者の育成

新たな成長ステージに向けた取り組み

海外戦略強化

- ① HR 北米進出を視野に販売体制強化
- ② HR 中期的な視点で普及戦略を策定



アルケリス株式会社との業務提携を開始



鋳造・3Dプリンター事業での生産技術とHEARTROIDで培った海外販路をベースに
シナジー効果を見極め、資本提携も視野に入れた協業を推進する

2026年12月期からの取り組み — 事業範囲を再定義した挑戦



中期的な視点で売上100億円の達成を指針とし、
既存事業の成長だけではない取組みを展開

事業等のリスク

① 市場環境について

当社は、工業製品の新品開発における試作品、少量量産品及び量産用部品の作製を行っております。各メーカーにはそれぞれの開発サイクルがあり、特に自動車メーカーにおける開発予算の圧縮、開発スケジュールの変更やモデルチェンジサイクルの変化等の影響を受ける可能性があります。このため当社では、特定の分野、顧客に偏ることのない事業ポートフォリオの構築を進め、業界や市場の動向に合わせた社内組織再編など事業の選択と集中を行い、影響の緩和に努めております。

② 試作開発環境について

試作開発はメーカーごとに手法が異なり、試作品での検証を繰り返す手法もあれば、試作品を作製せずCADソフト上のみで検証を行う試作品レスの手法もあります。今後、試作品レスの手法が主流となった場合、試作品作製のニーズが低減する可能性があります。このため当社では、受注案件を試作開発のみに限定することなく、量産領域まで拡張する他、競合企業の参入障壁が比較的高く、今後需要が増加すると推測される大型鋳造品の試作対応および提案力を強化し、高品質な製品をスピーディーに顧客に納入することで満足度を高めるための設備・人員を備えております。

③ 3Dプリンターへの需要拡大について

近年の3Dプリンターに対する需要拡大は、主に消費者向けの低価格3Dプリンターの出現により生まれた現象であります。低価格3Dプリンターで作製できるモデルの品質は限定的であること、また機械の運用よりも作製するモデルの3次元CADデータ作成の難易度が高いことから、この需要の拡大が継続しないことが想定され、当社においても、受注案件の減少に繋がる可能性があります。このため当社では、ハイエンド樹脂3Dプリンターの導入により、さらに高品質、高精度及び短納期を追求するとともに、工業分野のみならず、医療、教育及び芸術など幅広い市場、業種に3Dプリンター製品の需要喚起を進めております。

④ 特定分野への依存について

当社は、自動車をはじめとした輸送用機器分野やFA（ファクトリーオートメーション）分野の景気が悪化した場合、受注量及び受注金額の減少に伴い、経営成績及び財政状態に影響が及ぶ可能性があります。このため当社では、特定の分野・顧客に偏ることなく、複数顧客との取引に加え、将来需要の増加が見込まれる分野への積極的な設備投資などにより、製造バリエーションの拡張を進めることによりリスク分散を図っております。

⑤ 試作品の顧客内製化と競合企業について

当社は、3Dプリンター、鋳造工法による試作品及び量産用部品の作製を事業領域としておりますが、特に3Dプリンターの分野では、装置の価格低下や選択肢の拡大に伴って、従来顧客であった企業が試作品製造を社内で行うために装置購入に踏み切る動きがみられる一方で、いまだ多くの企業が3Dプリンター分野への事業展開を進めております。今後、より一層の試作品製造の顧客内製化や競合企業が増加した場合、当社の事業、経営成績及び財政状態に影響が及ぶ可能性があります。このため当社では、サービス業のサービスレベルで高品質な製品を提供することと、特定分野での同業他社との協業体制構築、さらには出力サービスのみならず装置販売・原材料樹脂販売といった3Dプリンターのトータルサポート企業として競合企業との十分な差別化が図れるよう、事業を推進しております。

※上記以外のリスクについては有価証券報告書の「事業等のリスク」をご参照ください。

将来の見通しに関する注意事項

本発表において提供される資料並びに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測及びリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらリスクや不確実性には、一般的な業界並びに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内及び国際的な経済状況が含まれます。

次回の本開示は2027年3月を予定しております。